

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑤	学校名	奈良西養護学校
----	---	-----	---------

1. 取組名 地域とともにある学校づくり

2. 活動内容

本校には、将来の仕事や生活に必要な力を高める学習として「しごと」の授業があり、毎週木曜日に一日通して活動しています。「しごと」の授業は、「果樹園芸班」、「農場班」、「布、糸工房班」、「木工房班」、「陶工房班」、「メンテクリーニング班」、「軽作業班」の7班に分かれて活動しています。

「果樹園芸班」、「農場班」では、午前中の作業を地域教育協議会の協力を得て、地域のボランティアの方々とともに作業を行っています。主な作業は、除草作業、果物、野菜の収穫や一緒に苗を植える作業などです。また、果物や野菜の育て方を教わったりしています。「軽作業班」では、地域の羊毛プロジェクトに参加し、羊毛のごみ取り作業の担当もしています。また、本校で開催される奈良帝塚山地区ふれあい文化交流会では、羊毛販売の活動も一緒にすることができました。農場班では、地域の保育園児を招いていもほり体験を実施し交流をすることができました。「メンテクリーニング班」では、障子紙の貼り換え作業時には、地域の方々からの依頼を受けることができました。「布、糸工房班」では、エコたわしや鍋敷きを作り、「木工房班」では、スマホ台やいすなどを作り、「陶工房班」では、小皿や小鉢づくりを行い、地域のカフェ等の店舗で販売することができました。また、これらの各班で制作したものや栽培したものは、11月に行われたふれあい文化交流会で、地域の方々に販売することも行いました。

さらに、2年生が学年活動の中で地域の介護老人保健施設へ行って、楽器演奏をしたり歌を歌ったりして交流を行いました。この他に、「職業家庭」を履修している2、3年生が、学校でコーヒーを入れておもてなしをする練習した後、介護老人保健施設へ行きその成果を実践することができました。

3. 成果と課題

地域ボランティアとの協働作業では、いろいろな作業と一緒に取り組むことで、ボランティアの方々と仲良くなり、一緒に活動することを楽しみにする生徒やボランティアさんとの仕事に張り切って取り組む生徒もでてきて、作業量を増やすことができました。また、ボランティアの方々からも、参加するごとに、「生徒さんと一緒に汗を流しながら楽しく作業ができました。」といった感想や「また、来学期も来ますね。」といったお声を聞かせていただきました。今後も作業内容を事前に伝えるなどの工夫を重ねながら、引き続き「地域と共にある学校づくり」を目指したいと思います。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

地域ボランティアの方々とのふれあいや一緒に活動したりする経験は、生徒たちにとって人と関わる力を広げ、喜び実感できる機会となり、大いにプラスになると考えています。今後も地域教育協議会との連携をとりながらこれら取組を継続していきたいと考えています。

